

グループ 3

地下水の水質や水系保全を

樋口付近の地下水など貴重な水資源の水質や水系が外環整備によって変わってしまわないか、心配だ。工事中から調査してほしい。

仙川とのつながりがあり自然環境には恵まれている

外環道によってこのエリアは分断されているが、仙川に近いこともあって、子育て層が転居してきているような場所でもある。そうした仙川とのつながりは大事にしたい。

高架下は子どもの遊び場や保育所を

目が行き届かず、不法投棄などが心配だ。ゴミが捨てられないようにしたい。
高架下は大きな音が出ても気にならず、全天候型に使えるのがメリットだ。保育園や子どもの遊び場などを作ってはどうか？
プレーパークは外環整備によって失われたので、再びできる場所を確保したい。
子どもだけでも遊びに行ける場があると良い。
保育園はよいが、アクセスが悪いので送迎バスなどアクセスの工夫が必要になるだろう。

イメージ：高架下をきれいに保ち子どもの遊び場に



ゲートボール場の補完

以前あったゲートボール場が外環道整備によって失われたので、全天候型の空間を生かして、整備できないか

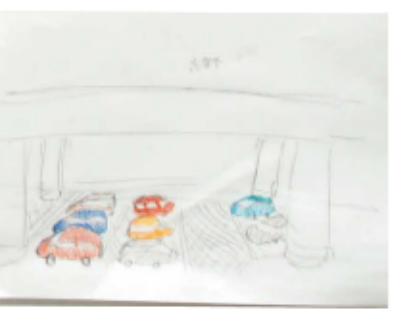
換気塔が目立たないように

農と自然共生ゾーンから換気塔が見えないように周りに樹木を配するなど工夫したい。

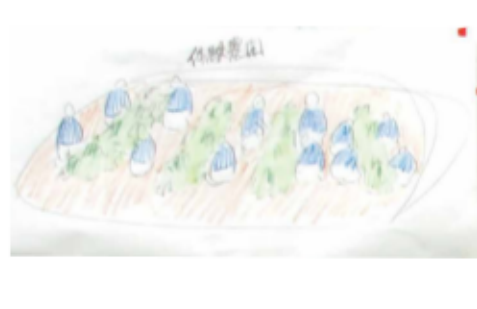
高架下多目的活動ゾーンや調整池の一部を駐車場に！

高架下はスポーツ広場や農・自然共生ゾーンの訪問者の駐車場としてまとめて確保し、交通のコントロールができるとよい。

イメージ：高架下を駐車場に



イメージ：体験農園



イメージ：農の体験+原っぱ+コミセン



<全体>騒音対策や工事中の安全性の確保など、子どもの環境への配慮

騒音計など学校前に掲示しているが、子どもたちの成長に影響が出ているようで心配。
通学路の安全を工事中も含め配慮してほしい。

安全に歩ける道を

この地域全体で道が狭く車が危険である。
現在想定されている8の字ループをさらに広げ、外環や中央道と交差するところも歩いて横断できるようにし、歩いて周回できるようにしたい。
緑が豊かではあるが、暗く危険。明るさをキープするなどの対策を練ってほしい。
安心して歩けるように、通過交通や犯罪が起きにくい明るさや交通規制などを考えてほしい。

イメージ：明るさを確保した歩行空間



<全体>地域の人が集まれる・立ち寄る場がほしい

地域の人が集まる場がない。親子が楽しめる空間がほしい。
現在はわざわざ市役所に行かないといけないが、地域の人々がふらっと立ち寄れるような場やイベントができると良い。
北野だけでなく近接地域とのつながりを大切にしたい。
歴史・郷土に触れる場があるとよい。行政だけでなく、住民が関わることで地域が活性化されることに期待したい。

利用制限有り(管理施設)
利用制限有り(調整池)
※上記の範囲以外に管理用のスペースが必要となる場合があります。

農・住調和形成ゾーン

スポーツ広場を補完する施設

外環ができることで、スポーツ広場がなくなってしまい、試合などができる場所がなくなってしまい困っている。また新たに使えるようにしたい。
この場所では、自由にボール遊びをするのではなく、かつてと同様に事前申込み制がよいだろう。東八道路インターチェンジ(仮称)

今ある住環境を残すための土地利用規制と東八道路沿いへの商業施設の集約化

今ある住環境(低層住宅と屋敷林)は残したい。
現在外環道によって立ち退きがあってもは児童は減らない状況で、何もしないとどんどん人が増え、環境が維持されるか心配だ。
現在の住環境を維持するために地域外の人々が来るような商業施設等は東八道路沿いに集約したい。

コミュニティセンター+原っぱ+農体験の場がほしい

コミュニティセンター機能があると良い。
一つの機能を作るのではなく、集会機能、歴史文化に触れる場、子どもが安心して遊べるような見通しの良い原っぱ、農を体験する場が集約されていると良い。
お祭りなどができると、地域の人々が集う機会も生まれる。
剪定した樹木などをたい肥にするための場所を設けリサイクルにも取り組みたい。
体験農場をするには、指導者は必要だが、地元農家に押しつけるのではなくつなぎ役が必要だ。

※周辺の都市計画道路、機能補償道路は概ねの位置を示したものです。